

QUICK
INSERT

速い！簡単！確実！

技術と信頼のトレードマーク



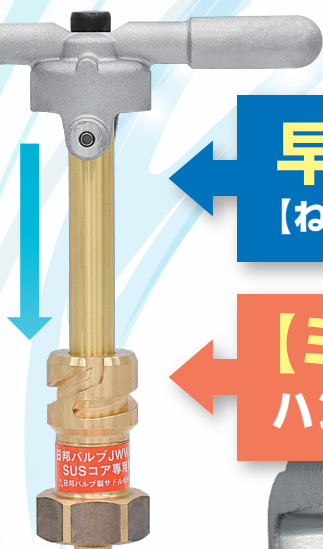
日邦バルブ製 密着ステンレスコア専用

クイック挿入機

20、25mm



SB-F
(規格フランジ・B型用)



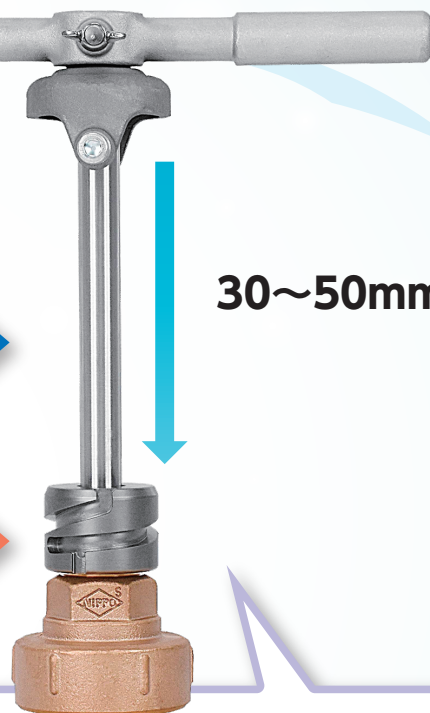
SB-A
(JWWA・II型用)

早送り機能

【ねじ送り作業】なし

**【ミゾ】にそって
ハンドルを半回転**

30～50mm



30mm



40mm



50mm

アダプター



30mm



40mm



50mm

挿入棒

(アダプターと挿入棒を付け替えて使用)
※30～50mmのみ

密着ステンレスコア

クイック挿入機
操作方法

クイック挿入機の
操作方法を動画で
ご覧いただけます



素敵な創造～人へ・未来へ

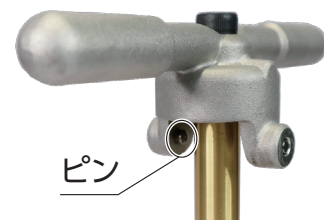
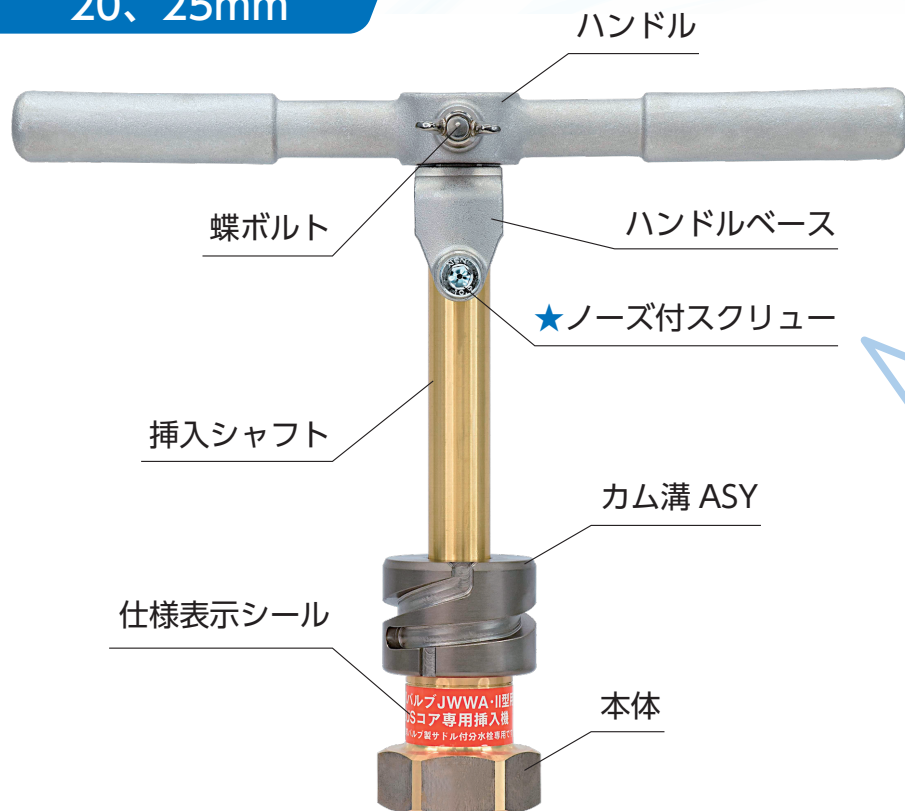


株式
会社

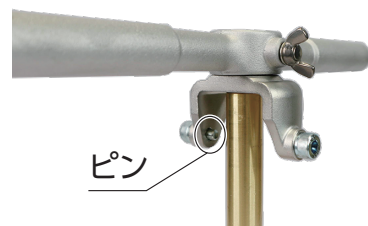
日邦バルブ

商品構成

20、25mm

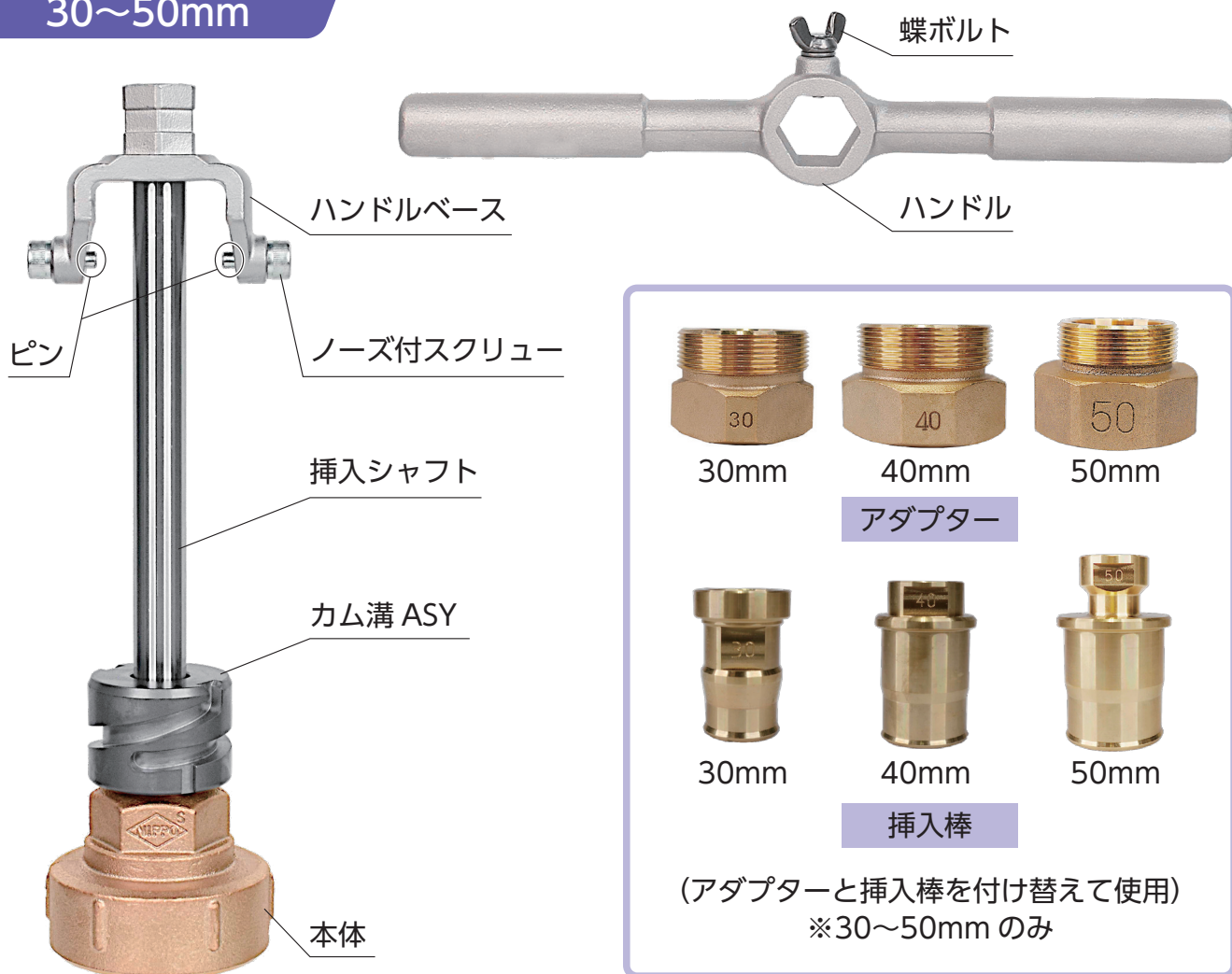


★20mm の場合



★25mm の場合

30～50mm



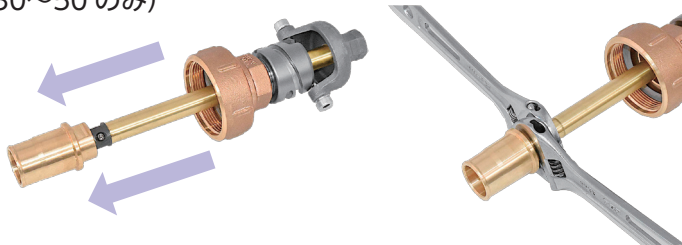
操作方法

事前準備 サドル付分水栓の取り出し口径、穿孔穴呼び径を確認し、適合した密着ステンレスコア、アダプター、挿入棒をご用意ください。

穿孔が完了したサドル付分水栓に、適合したアダプターを取り付け、レンチ等で締め付けます。
(20、25 はアダプタ不要)



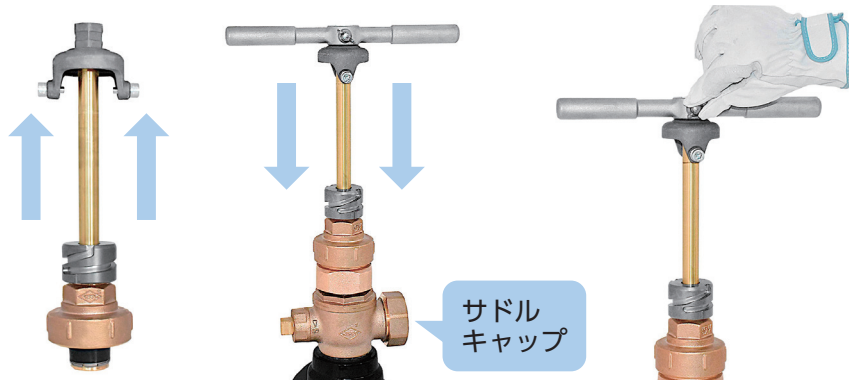
シャフトを前進させた状態で挿入機のシャフト先端に適合する挿入棒を取り付け、スパナ等で締め付けます。
(30～50 のみ)



- 1** 密着ステンレスコアを、挿入棒先端より挿入棒根元まで軽く押し込んで装着してください。



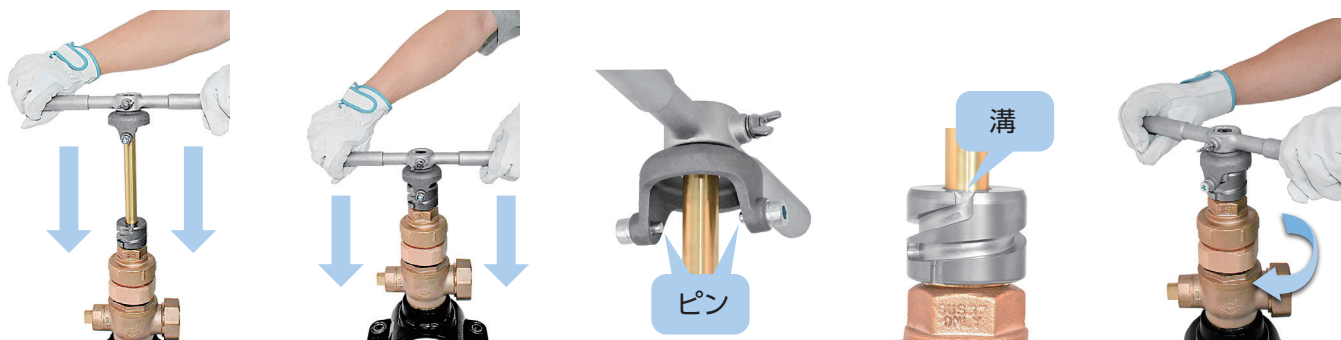
- 2** シャフトを最上端まで引き上げ、挿入機本体をアダプターに取り付けレンチ等で締め付けた後、サドル付分水栓をゆっくり開にします。ハンドルを取り付け、蝶ボルトでしっかりとめてください。



- 3** ハンドルを押し下げながらピンを本体の溝に合わせ、溝の終点を目安に右に半回転ほど回します。

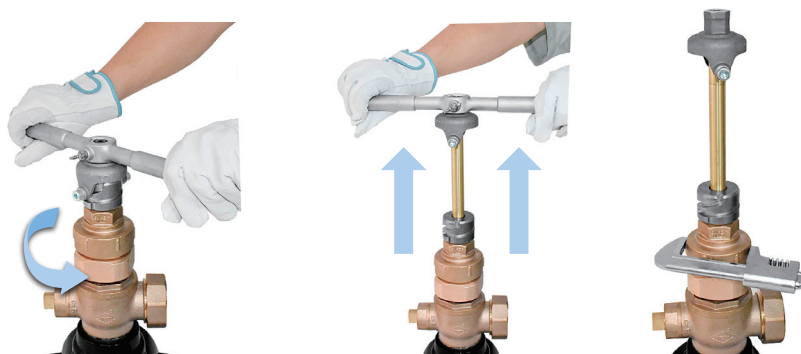
溝終点近傍までピンが達すれば終了です。それ以上回さないでください。

溝に入った直後に回転が固くなる場合は穿孔穴が小さいなどの施工不良が考えられます。



- 4** ハンドルを左に回し最上端まで引き上げ、サドル付分水栓を閉にした後、ハンドルを外します。さらに挿入機、アダプターをレンチ等で外し挿入作業は完了です。

通水状態の施工では、溝を外れた瞬間にシャフトが水圧で勢いよく押し上げられます。ご注意ください。



ご使用に際して

- ★ クイック挿入機は日邦バルブ製の密着ステンレスコアとサドル付分水栓専用です。
 - ★ シャフトには、泥・砂等を付着させないようにご注意ください。
 - ★ 各部のゆるみ、溝の摩耗等がみられる場合は使用を中止してください。ピンに摩耗がみられる場合は交換してください。
 - ★ 挿入機、シャフトの破損、部品の損傷などないか確認してください。
 - ★ シャフト部の動作不良を感じた際は、グリス塗布をしてください。
- ※使用グリスはゴムに影響がないシリコングリスを使用し、油分が含まれる潤滑スプレー等は使用しないでください。グリスに関する詳細情報が必要な場合は、営業所にお問い合わせください。

ピンの交換について

- 施工にともない、ピンが摩耗します。顕著な摩耗が認められる場合は交換してください。
- 穿孔穴径のばらつきにより、施工が重く、激しく摩耗してしまう場合があります。最適な挿入状態を保つため、50 回毎での交換を推奨します。(25mm 以上)
- ピンは左回しで緩め取り外します。取り付けの際は右回しでしっかりと最後まで締め付けてください。

■ 密着ステンレスコア お取り扱いについて

- 保管場所は屋内の風通しの良い冷暗所とし、投げ出し、落下等、衝撃を与えないようお取り扱いください。
- 20mm、25mm は、保護シャフト（樹脂製梱包材）から外してご使用ください。



● 掲載商品については、最寄りの営業拠点までお問い合わせください。

営業拠点はこちら
弊社 Web サイト



素敵な創造 ～人へ・未来へ

本社・松本工場 〒399-8750 長野県松本市笹賀3046
北海道工場 〒059-1362 北海道苫小牧市柏原6-120
ISO 9001・14001 認証取得 <https://www.nippov.co.jp/>
東京、設備、関東、神奈川、札幌、仙台、松本、北関東、名古屋、大阪、広島、福岡

このカタログに記載した内容は予告なく変更することがあります。
また、許容差のない数値は標準値を示します。呼び寸法・呼び径と実寸法とは同一ではありません。